

平成25年12月16日

広島大学教職員組合執行委員長
西 別 府 元 日 様

広島大学理事（財務・総務担当）
平 野 仁 司

東広島キャンパス車両入構ゲートのICカード感知器に関する要求について（回答）

2013（平成25）年11月29日付けで要求のありました標記のことについて、下記のとおり回答します。

記

【要求内容】

東広島キャンパス入構ゲートにおける職員証・学生証の感知器の感度を引き上げ、財布等に入れたままで、また、一定距離から感知し得るように改善して下さい。

【回 答】

まず、今回10月の東広島キャンパス入構ゲートの更新にあたりましては、教職員並びに学生の皆様のご協力・ご理解を受けて、大きな混乱もなく運用を開始することができ、感謝申し上げます。

この度の要求内容（①職員証・学生証の感知器の感度引き上げ、②財布等に入れたまま一定距離から感知し得るように改善すること）について、早速メーカーに確認を取らせていただきました結果を踏まえて下記の通り回答させていただきます。

まず、職員証・学生証の感知器の感度引き上げについてですが、感知器の感度については同メーカーが有する機器の最高レベルの感度に調整されており、これ以上の調整は不可能です。また、他のメーカーによる機器でも感度については同様です。

次に、財布に入れたままの一定距離から感知し得ることについてですが、読取条件としては、1. 読取画面と職員証・学生証の通信距離が3センチ以内であること、2. 他のICカードが入っていないこと（カード同士が干渉し合い認証できないことがあるため）となります。従って、これらを満たす条件下においては、一定距離から財布に入れたままでも感知できます。

以上につきましては、必要に応じて利用者である教職員・学生の方々へ周知させていただきたいと考えております。

以上の内容について、ご理解いただき今後も入構ゲートの運用に御協力いただけますようよろしくお願いいたします。